

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和4年度事業点検・評価調書

5-III-4

5-III-4

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり	取組項目	広域周遊ルートの検討
節	Ⅲ. 佐渡金銀山・関連地域資源を活用した島内及び全県的な魅力の発信	事業主体	県国際観光推進課
事業(施策)名	4 広域周遊ルート普及促進	関連団体	新潟市観光推進課、長岡市観光企画課、上越市魅力創造課、県観光協会、佐渡観光交流機構
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産を核に、多様な県内周遊ルートや近県を含めた広域ルートの設定により、全県的な魅力発信を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産を核に多様な県内・県外の周遊ルートを設定し、広域旅行商品の造成支援を行う。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 世界遺産を含めた広域周遊ルートの認知度向上、及び旅行商品造成数の増加 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 近隣県や首都圏自治体等と連携しながら、台湾や香港などの海外メディア招請や、共同WEBサイト及び現地メディア等を通じた情報発信、旅行博出展やAGT訪問等の現地セールスプロモーションなど、認知度向上と誘客促進に向けた取組を重層的に展開した。 <p>【これまでの主な取組(抜粋)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都との連携による香港メディアの現地招請、共同WEBサイトによる情報発信 ● 会津若松市、新潟市、佐渡市との連携による台湾メディア活用キャンペーン開催、KOL招請 ● 関東地方、長野県、福島県との連携による広域周遊ルートの開発、タイ旅行博への出展 ● 東北地方との連携による広域周遊ルートの開発と共同WEBサイト等による情報発信 ● 山形県との連携による台湾、香港、東南アジア向けメディアの招請及び情報発信 ● 北陸新幹線沿線県等との連携による、共同WEBサイトでの情報発信 		
事業計画と実績	<p>【R4年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北陸新幹線沿線県等との連携事業（石川県、富山県、岐阜県、福井県、滋賀県、長野県、群馬県、埼玉県、東京都、JR東日本、JR西日本等） 海外有カメディアを活用したオンライン記事広告の配信や、連携特設サイトでの情報発信を行う。 ● 東京都との連携事業 東京・北陸地域の共同ウェブサイトでの情報発信や、メディア招聘によるプロモーションを行う。 <p>【R4年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 北陸新幹線沿線県等との連携事業（石川県、富山県、岐阜県、福井県、滋賀県、長野県、群馬県、埼玉県、東京都、JR東日本、JR西日本等） 特設WEBサイト(New Golden Route)において、佐渡金銀山を含む広域観光ルートの情報発信を実施した。 ● 東京都との連携事業 共同WEBサイト(HOKURIKU×TOKYO)において、佐渡金銀山を含む広域観光ルートの情報発信を実施した。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 首都圏空港(羽田・成田空港)を中心に訪日旅行が再開したことから、関東や東北、北陸の新幹線沿線地域にある近隣県等と連携して、多様かつ魅力的な広域周遊ルートの開発を行うなど、首都圏からの誘客を意識したプロモーション活動を強化する必要がある。 ■ 佐渡金銀山の世界遺産登録を見据え、佐渡を含む本県への外国人旅行者の来訪を促すため、首都圏や近隣県との連携による継続的な情報発信を通じて、本県観光コンテンツの認知度向上を図る必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 首都圏や近隣県との連携による広域周遊ルートの更なる普及促進に取り組む。 特に今後増加が見込まれる、羽田・成田空港や新幹線を利用するFIT(個人旅行者)やSIT(特別な目的の旅行者)をターゲットとしたモデルコースの開発を行うとともに、インフルエンサーや海外OTA等を活用したプロモーション活動の強化を図る。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR4末の達成度】 ◇ 新型コロナウイルスによる訪日旅行制限下においても、SNS等を活用した情報発信を継続的に行ってきたことに加え、訪日旅行再開後は海外現地のインフルエンサーや旅行会社を招聘して周遊モデルルートを提案するなど、より具体的な来訪に向けたプロモーションを実施し、本県来訪者数の増加につなげてきたことから、【事業評価】をB(概ね予定どおり)とする。</p> <p>[A・(B)・C]</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。